

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	えぬびーおーほうじんおかやまきずな	
団体名	NPO 法人岡山きずな	
代表者名	岩田 弘明	
連絡先	住所	岡山市北区中山下 1 - 5 - 2 5
	TEL	0 8 6 - 2 2 1 - 2 8 2 2
	E-mail	okayamakizuna@gmail.com
	URL	http://www.okayamakizuna.com
設立年（西暦）	2 0 0 1 年	
助成活動名	誰もとりこぼさないための相談スキルアップの取り組み	
助成額	1,000,000円	
活動内容	目的	<p>活動拠点「安楽亭」では、路上生活者をメインターゲットとし、その命をつなぐための機能を“無料食堂”という形で果たしてきた。コロナ禍以降“無料弁当”に切り替えて活動を行ったところ、路上生活者だけでなく、生活保護受給者、シングル家庭の方、少額の年金受給者などの生活困窮の方など利用者が激増し、それに伴ってそれぞれが抱える問題・課題が複雑・多様化した。そんな変化にスタッフもボランティアスタッフもついていだけで必死になり、利用者一人ひとりとしっかりと話をし、顔の見える関係性を構築し、困りごとについて一緒に取り組んでいく余裕が無かった。</p> <p>しかしながら、当法人の活動理念である「命をつなぐ」を体現していくためにはやはり単なる食糧提供にとどまるのではなく、利用者一人ひとりと向き合い、本人の困りごとや思いを掬い取ることが必要であると実感するため、相談を受けるための仕組みや体制・環境づくり、またボランティアスタッフも相談を受けられるスキルや知識の習得、当事者と関係を構築するためのノウハウを得るための研修や学習会を実施する。</p>
	内容	<p>【相談ブースの設営】 6月以降、毎月第4金曜日16時頃～なんでも相談会『たまりば』の開催 ※9月（豪雨のため中止）、10月（隔月開催に変更するも連携機関の都合により中止）、1月～（安楽亭改修のため以降当面中止） ・お弁当配布会場内で連携機関である労働者協同組合ワーカーズコープの就労支援部門やグリーンコープ生協おかやまの家計相談部門、総合相談窓口である岡山市社協・寄り添いサポートセンター、済生会病院や岡山市保健センターとの協働で実施。各相談機関のパンフレット等を設置し、各機関の役割紹介などを実施。</p> <p>【ボランティア連続講座】 ＜対象＞現在きずなボランティアに参加している方、関係機関の方、また活動に関心がある方 ＜参加申込方法＞Googleのフォームや電話、メールなど ＜場所＞「安楽亭」（岡山市北区下中野70番地）（定員：30名） 第1回：きずなの理念と活動～生活困窮者支援とは／ボランティアとは～ 講師：新名雅樹氏（当法人相談員・川崎医療福祉大学講師） 太田直宏氏（当法人理事・YMCAせとうち総主事） 第2回：ホームレス支援・困窮者支援におけるメンタル課題を抱えた方への理解と援助 講師：岡崎翼 Dr.（岡山県精神保健福祉センター） 第3回：映画『さとにきたらええやん』上映&居場所づくりを考える～なぜ今、こども食堂なのか～ 講師：湯浅誠氏（認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長）</p>

	<p>第4回：映画『プリズン・サークル』上映&自己理解・他者理解を深めるワークショップ 講師：市場恵子氏（社会心理学講師・カウンセラー）</p> <p>第5回（最終回）&法人設立20周年記念講演会： 講演『いつか笑える日がくる～ひとりにしないという支援～』 講師：奥田知志氏（認定NPO法人抱樸理事長） 会場：岡山市勤労者福祉センター5階大ホール</p> <p>【ボランティア実地研修下見】 4月、職員2名でボランティア研修の下見を兼ねて認定NPO法人抱樸への事業視察を実施</p> <p>【ホームレス支援全国ネットワーク研修】 9月、東京にて職員2名で薬物・アルコールなどの依存症に関する研修へ参加 ＜講師＞松本俊彦 Dr.（国立精神・神経医療研究センター）</p> <p>【ボランティア実地研修】 ＜対象者＞普段活動に参加しているボランティア（定員：10名） ＜日時＞2024年1月19日（金） ＜研修先＞認定NPO法人抱樸（北九州） ＜目的＞同分野で先進的に活動をされている団体から、その方法などを学ぶ ＜内容＞各事業の見学、炊き出し・夜回り活動への参加</p>
成果	<p>【相談ブースの設営】 全4回開催。「相談」という形式に特化せず、まずは誰でも気軽に話ができるような空気づくりを意識した。その成果もあり、お弁当を受け取りに来たついでに普段の生活の様子などを各機関のスタッフと雑談的に話をし、その中から本人の困り感をキャッチし、支援につながるというケースも見られた。関係機関と一同に会することで互いの顔が見える関係づくりができ、これからの連携強化にもつながった。</p> <p>【ボランティア連続講座】 各回平均30名、ボランティアだけでなく、活動や講座テーマに関心のある方、県外からなど多様な方の参加があった。各回、講義形式だけではなく、講師と参加者、参加者同士が相互に意見や感想を交換できる時間をたくさん設けた。普段の活動で抱えている疑問や困り感などを互いに吐き出し、受け止め合う経験をすることによって、ボランティア自身がエンパワーメントされる機会にもなった。普段の活動の中で特に直面している課題に特化した講座をセッティングしたため、参加者からの満足度はとても高かった。</p> <p>【ホームレス支援全国ネットワーク研修】 路上生活者、生活困窮者問わず普段の支援活動の中で一定数存在する薬物やアルコールなど依存症と思われる方への理解や対応・支援についての見識を深めることができた。</p> <p>【ボランティア実地研修】 普段食事作りや夜回りに参加している大学生から70代高齢女性、総勢10名の有志で実施した。同分野で先進的な活動をしている法人の取り組みを学んだうえで、それぞれが自分たちの力、当法人のパワーで出来ることを模索し、実行にうつしていくためのきっかけとなる研修となった。また、各活動の参加ボランティアと一緒に研修を受けることで、ボランティア同士の横のつながり作りにもなり、ボランティア間の結束を生む研修にもなった。</p>
今後の課題と対応策	<p>当法人のボランティア部門は非収益であるため、どうしても日頃の活動に係る経費を優先しがちであり、なかなかボランティア自身に割く経費を捻出することが出来なかった。今回助成金を活用する形でボランティア研修を実施することができ、ボランティアの満足度は高く、活動へのモチベーションを高める効果があったと感じている。こうしたボランティア自身のエンパワーメントやスキルアップが、婉曲的に当事者の方々への対応向上につながっていくため、今後も引き続きボランティア研修への財源を確保するため、寄付金を増やしていく取り組みを行っていきたい。</p>



写真の提出

